

「協同と行動の大切さ」 ゴールデンZクラブ

新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっている中、私はゴールデンZクラブでの活動を通じて、積極的に行動することの大切さを日々実感しています。特に実感したのは、今年の2月に参加したカンボジアでのスタディー・ツアーです。昨年にも参加したのですが、2度参加することで学ぶことが変わるのでないかと思ひ、参加しました。実際に参加するとその通りでした。昨年は先輩と参加し、多くを先輩に頼ってしまっていました。しかし今年、先輩は参加せず、カンボジアを初めて訪れるメンバーと参加したことで強い責任感が生まれ、積極的に行動しなければいけないという意識が強くなりました。また、西南女学院大学ゴールデンZクラブの中のカンボジア教育支援プロジェクトがNPO法人と協力して支援をしているパティ高校というカンボジアの高校に二度訪れたことで前回の反省を生かし、改善を加えたアクティビティを生徒と行うことが出来ました。ゴールデンZクラブに大学入学と同時に所属し、今までに様々な貴重な機会を北九州Zクラブの皆様とアドバイザーである塚本先生から頂いてまいりました。今年度は新型コロナウイルスの影響でなかなか思うように活動を進めることが難しい状況にありますが、今までの経験とメンバーとの絆を生かし、会長としてメンバーと協同しながら活動を行いたいです。



代田 有咲

北九州Zクラブ 2019 年度事業報告
2019年(令和元年)6月1日～2020年(令和2年)5月31日

6月 1日	役員会	
17日	総会・定例会	
7月 6日	役員会	
6日	国連ウィメン日本協会北九州バザー	3名参加
17日	定例会	
8月 3日	役員会	
19日	定例会	卓話 吉岡啓子会員
9月 7日	役員会	
17日	定例会	
10月 5日	役員会	
10～12日	26地区・地区大会	
21日	定例会	
11月 2日	役員会	
9日	彰化Zクラブ30周年記念式典	5名参加
18日	定例会	
12月 7日	役員会	
12日	ハートフルパーティ 2019	
16日	定例会	
18日	岡山Zクラブ「クリスマス・パーティ」	2名参加
1月 11日	役員会	
20日	定例会(新年会)	
2月 1日	役員会	
16日	福岡Zクラブ「チャリティ・ディナー・ショー」	10名参加
17日	定例会	
3月 14日	奈良Zクラブ30周年記念式典	3名参加
16日	役員会	
16日	定例会	
4月 4日	役員会	
20日	定例会	
5月 2日	役員会	
18日	定例会	
31日	会報発行	

寄付活動

北九州Zクラブ奨励金・奨学金
公益財団法人九州盲導犬協会
特定非営利活動法人 ロシナンテス
ローズ基金
アメリカ・イアハート奨学金
J.M. クローズマン奨学金
YWPA 奨学金

令和2年度会員一覧

2020年(令和2年)6月～2021年(令和3年)5月

会 長	加藤 千佳
副会長	河邊 政恵
書 記	福島 大亮、塚本美紀(エレクト)
会 計	神谷 麻里、中村 裕巳(エレクト)
理 事	天川 悦子、大石 紀代子、田島 紘子
監 査	三宅 まゆみ
財務・プログラム委員会	◎遠見 徳子、大石 紀代子、神谷 麻里 中村 裕巳、福原 公子
会員委員会	◎千代丸 孝子、△勝本 由美子 渡部 英子、福島 大亮 河邊 政恵、△権頭 喜美恵
アドボカシー・奉仕委員会	◎塚本 美紀、木下 彰子、水嶋 章陽 末吉 房代、塚本 美紀、三宅 まゆみ
国連・広報委員会	◎眞鍋 孝輔、天川 悦子、田島 紘子 中村 尋子、坂本 直美、△丸山 政子

◎=委員長 △=休会者

毎月/役員会 (第1土曜日) 男女共同参画センタームーブ
定例会 (第3月曜日) リーガロイヤルホテル小倉

発行日: 2020年5月31日
発行責任者: 北九州Zクラブ 会長 大石 紀代子
事務局: 北九州市小若松区本町 2-5-12
編集: 国連・広報委員会 委員長 眞鍋孝輔



北九州Zクラブ

美苑書

会長任期を終えて

会長 大石 紀代子

会長就任にあたって

次期会長 加藤 千佳



この度は2年間、誠にありがとうございました。任期中は、国際Zonta26地区 第15回地区大会をはじめとする様々な活動をさせていただくことが出来ました。木下ガバナーをはじめとする北九州Zontaクラブの会員の皆様、そして多くのZonシャンの皆様を支えていただきながら、2年間の会長職をさせていただくことが出来ました。皆様の支えなくしては非常に重要な会長職をすることは本当に困難であったと感じております。この2年間、私にとって本当に大切な時間を過ごさせていただきました。2020年の3月より、コロナウイルスの影響により、様々な行事が中止される中、北九州Zontaクラブの活動も困難を極めました。常に前に進む気持ちを持って会運営を行って参りました。そして、北九州Zontaクラブは、オンラインを利用した役員会、定例会等ソーシャルディスタンスを保ちつつも会内のコミュニケーションを大切にしたい取り組みにチャレンジして参りました。今後益々の北九州Zontaクラブの発展を祈念致しますとともに、この2年間後協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



この度10年ぶり2度目の会長を務めることになりました。世界中にコロナウイルスの感染が拡大する緊急事態、各国から届くニュースに1国だけで片づくことではないことも解っていないながら、自国主義を軸とした主導権争いが起こっています。このような状況下、「国連・WHO」の指導にも今後の世界が様変わりすることが予想されます。Zontaも変わっていくことでしょう。会長就任するにあたり、クラブ運営をどのように進めていくか「会員の絆を深める・事業の継続と発展・地域に貢献する・他クラブ、国際との協力」等々頭悩ますことばかり。でも、悩んでばかりはいられません。時は進み、立ち止まってはられないことも解っております。北九州Zontaクラブも来年は30周年を迎えます。その時にはコロナウイルスの感染が終結した世界が戻っていることを信じて、与えられた会務をバトンタッチが出来るように頑張ります。私一人では何もできませんが、クラブ会員の皆様はじめ、ご支援して下さる方々のお力をいただきながら2年の任期を務めさせていただきます。どうかよろしくご指導くださいませ。終わりに、世界の安寧と皆様のご健勝が続くことをお祈り申し上げます。

26地区ガバナーとして



2018年7月、横浜で開催された第64回世界大会で、日本が単独で26地区になって7代目のガバナーに就任させて頂きました。

スザンネ国際会長が司令塔として出すテーマ、目標を、元気いっぱい理事会の力を借りながら、いかに地区内に浸透させ、会員様一人一人に理解して頂き、Zontaの目標を達成するのか、ワクワクしながらの挑戦をしながら、2年間を過ごさせて頂きました。

今期の国際の目標の目玉は、「児童婚の撲滅」。世界を飛び回りながら、このメッセージを発信し、力強く活動を展開してこられたスザンネ会長。"BridgeZ"というニックネームで結ばれた32の地区・地域のガバナー達は、Governors Callと呼ばれるWeb会議を通して、またはメールでのやり取りをしながらそれぞれの地区・地域で目標実現に向けての努力を重ねてきました。

貴重な経験、素晴らしい仲間との出会い、新しい発見、人間修行、すべてに心から感謝あるのみです。そして支えてくださった北九州Zontaクラブの皆様、本当に有難うございました。

国際Zonta26地区ガバナー 木下 彰子

国際ゾンタ26地区 第15回地区大会を終えて



第15回地区大会は2019年10月10日～12日まで国際会長Susanne Von Bassewitz氏をお迎えして、リーガロイヤルホテル小倉で開催いたしました。故三隅佳子氏は実行委員長をされるはずでしたが9月7日急逝されたので、副委員長田島紘子氏と共に大役をお引き受けしました。本大会のテーマは「世界中の女性と子どもの幸せのために～今、わたしたちができること～」といたしました。これまでの地区大会とは異なり一般市民も参加できる公開講座で児童婚について熱心に討議されるなど豪華なパネリストのご登壇はこの上もない喜びでした。

プログラム作成にあたってパラメンタリアンの豊田由起子氏には懇切丁寧なご指導を賜り感謝しています。資料集28～29頁の掲載は、地区大会の歴史を残したいとの思いからでした。また、当クラブ会員の方々が、各役割を責任を持って遂行して下さいましたお陰で予定時間内に終了することが出来ました。特に福岡ゾンタクラブの中村クミ会長他の皆様にはクレデンシャル報告をスピーディにしていたいただいたのでスムーズに進行出来たことを心よりお礼申し上げます。最終日を待たずに台風19号接近のニュースに翻弄されました。全国各地よりご来倉下さいました皆様お帰りが大変だったと伺っております。突然やってくる自然災害本当に怖いですね。

最後になりましたが、中村太地さんの素晴らしいバイオリンの音色・中丸三千繪さんの素晴らしい歌声、お二人の演奏に皆様も感動されたのではないのでしょうか。

また、図らずも指名委員をさせて頂くことになりました。安田多賀子次期指名委員長の下でお役を全うしたいと存じます。皆様今後ともよろしく願いいたします。

大会議事録も皆様のお手元に届いていることと存じます。ありがとうございました。

実行委員長 中村 尋子

「国連ウイメン日本協会北九州」に参加して



NPO法人「国連ウイメン日本協会北九州」とは1994年7月ユニフム北九州として設立。その後「国連ウイメン日本協会北九州」と名称を変更。現在個人会員236人11団体(北九州ゾンタクラブも所属)。今年は設立25年の節目にあたり周年行事が行われました。①令和元年11月17日 恒例のブームフェスタチャリティーバザー、収益金98,660円と寄附金・募金を含めて200,000円が国連ウイメン日本協会をとおして「UN Women」に寄付されました。令和元年7月6日 設立25周年事業として。記念講演・記念コンサートを開催。尚、当日は故三

隅佳子さん(国連ウイメン日本協会北九州前会長・北九州ゾンタクラブ元会長)の功績に対して感謝状の贈呈がありました。「UN Women」とはジェンダー平等と女性のエンパワーメントの国連機関です。これまでは国連開発基金(UNFIEM)、女性地位向上部(DAW)・その他。4つの機関が統合され、2011年から世界的な活動が開始されています。国連ウイメン日本協会北九州もこのUN Womenを支援しています。キャチコピーは～世界の女性と手をつなごう!～です。

丸山 政子

彰化クラブ30周年記念式典



北九州ゾンタクラブの国際的姉妹クラブは台湾(District 31 Area 2)の彰化ゾンタクラブで2005年3月より交流を深めているとお聞きしています。私が姉妹クラブの方々に初めてお目にかかったのは昨年10月に行われた第15回地区大会の折でした。その後、11月8日から10日まで彰化クラブ30周年記念式典参加するため、慌ててパスポートを更新し台湾に訪れました。

記念式典は9日の午後から昼食を交えて盛大かつ壮麗に行われました。馳走はさることながら、締めのお茶席は素晴らしいものがありました。

実はそれ以上に目を見張るイベントが式典の午前中に行われました。それは彰化ゾンタクラブが主催のバザーで、地場の店舗(およそ50)や公安関係当局(警察や軍)を味方に250平方メートル程度の広場を舞台に展開したものでした。会場のステージではクラブが支援している団体の演奏・演舞、そして表彰が行われました。

北九州ゾンタクラブも30周年を迎えようとしています。姉妹クラブに学ぶことは多くあると思います。

福島 大亮

ハートフルパーティ2019



令和元年12月12日リーガロイヤルホテル小倉にて、2019年度ハートフルパーティーを行いました。

特定非営利活動法人ロシナンテス様、公益財団法人九州盲導犬協会様への寄付の贈呈をさせて頂きました。スペインッシュギターユニット DON ALMAS様をゲストにお迎えして開催させて頂きました。素晴らしいフルコースディナーの後に、お二人の最高のギターの音色に酔いしれて頂きました。

ご出席いただいた皆様全員にビンゴゲームにて景品をお持ち帰り頂きました。今年は、沢山の景品をお渡しできました。大変お忙しい中、沢山のご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

眞鍋 孝輔

「合唱の声高らかに～千草ホテルにて新年会開催」

会員のみなさまが毎年楽しみにしている新年会。今年はハートフル・パーティーにいつもご協賛くださっている千草ホテル様で開催いたしました。

お料理はもちろん、レストラン「ミルエルブ」のフランス料理です。前菜からデザートまで一つひとつのお料理が大変美味しく、会員のみなさまも大満足。季節の素材を使い、前後のお料理のお味のバランスよく、とても印象深いお料理でした。お料理が美味しいと会員相互の会話も弾みます。お食事が終わったあと、天川会員から合唱をしましょう!とご提案をいただきました。個室ですから他のお客様を気にすることもありません。童謡から始まり軍歌を歌う会員さんもおられ、大いに盛り上がりました。普段の定例会では議事進行で時間いっぱい、なかなか会員相互の親睦を図るのは難しいのですが、このような取組みはクラブの和を深める非常に良い機会だと感じました。末筆ながらお世話になった千草ホテル様に心より感謝申し上げます。



河邊 政恵

福岡ゾンタクラブ チャリティーディナーショー



中丸三千恵様のコンサートが楽しみで参加しました。前回のコンサートは模型を使つてのレクチャーで声の出し方とか三興になり、コーラスの指揮者の無理難題が理解できるようになりました。今回はお話が面白く楽しめました。美智子上皇后の心温まるお話や、世界20カ国首脳会談の時とか、素晴らしい歌声は、ほんとにボディが楽器というのを感じました。400人の観客の前で、あの細い身体の中から声が出るのかって感じがです。コロナストップがかかる前でしたが、福岡市長はビデオ参加でした。福岡ゾンタの力強さには関心いたしました。奉仕活動の寄付先が多方面に渡っているのはすごいと思いました。

千代丸 孝子